

園芸市場情報

令和2年1月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

謹賀新年 本年もよろしくお祝い申し上げます

1月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年並か！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年並か！

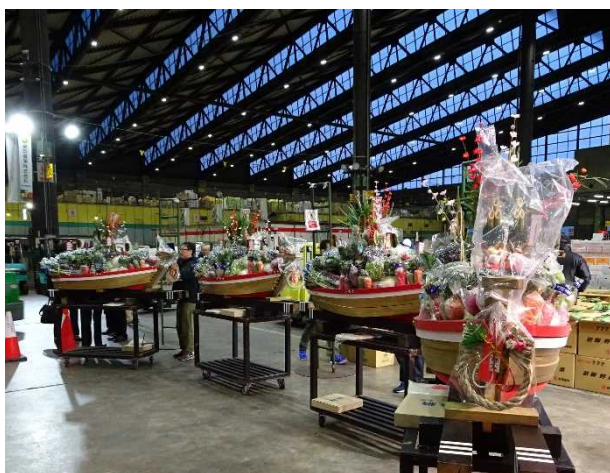
<今月の写真>

* 年始の市場風景 *

1月5日(日)東京都中央卸売市場大田市場で、青果の初競りが行われました。

東京青果(株)のセリ場では、川田社長から、「今年は、改正卸売市場法が6月に施行され、転換期となる。1番の課題である流通システムの改革を進めていく」との年頭のあいさつがあり、その後、競売が始まり、令和の初競りでは、商売繁盛を願って作られた縁起物の野菜の宝船が15万円、正月用のサクランボが80万円などご祝儀相場で順次競り落とされ、買参人の拍手に包まれました。

令和2年は、改正卸売市場法の施行やオリンピック・パラリンピックの開催など、変化の年になります、皆様にとって素晴らしい年になりますよう御祈念申し上げます。



東京青果(株)に出荷された宝船



1箱80万円で競り落とされたサクランボ
(中央 500g/箱)

CONTENTS (目次)

I 青果情報	1項
12月(中旬まで)の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
1月の見通し	
今月の青果物 特集「きゅうり」	
II 花き(切花)情報	6項
12月(中旬まで)の経過(販売経過、品目別経過)	
1月の見通し(輪菊・SP菊・カラー)	
11月の入荷量と単価の経過 <<確定値>>	
III 千葉県内市場における園芸品の市況概況	7項
11月の青果物と花き	
IV やっちゃんば閑話	8項
「令和2年 謹賀新年」	
V 首都圏掲示板	9項
青果物流通の合理化の取組を視察しました	
青果小売業者を対象とした「こかぶ産地見学会」を開催	

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 11月下旬～12月中旬までの経過

気象	<p>北日本では、12月上旬に強い寒気が流れ込み降雪があったが、冬型の気圧配置は長続きせず、平年より降雪が少なくなっている。一方、関東などでは晴れ間が続かず、暖かい日が多くなった。</p> <p>気温は、関東甲信越以南では平年を上回る傾向で、北日本では平年を下回る地点が多かった。</p> <p>降水量は、関東及び東海地方の太平洋側や九州地方が多く、北海道道東や東北太平洋側でかなり少ない傾向となった。</p> <p>日照時間は、北海道道東、東北及び北陸地方で平年より長く、関東甲信以南で短い傾向だった。</p>
----	--

野菜類

入荷量	<p>関東及び東海地方、西南暖地からの入荷が主体となった。</p> <p>「ブロッコリー」「ミニトマト」は主産地の作付増や作柄の影響を受け、前年をかなり上回った。近在産地が主体となる「ほうれんそう」「かぶ」「しゅんぎく」等は台風や大雨の影響が残り、前年を下回った。「キャベツ類」は愛知県の作柄が良く、市場全体では前年並の入荷となった。</p> <p>野菜全体では、11月下旬から12月中旬の入荷量は128,118t（前年比99.4%）と前年並となった。</p>
相場	<p>「ばれいしょ類」「たまねぎ」などを除き、多くの品目で安値だった前年を上回った。特に、「ほうれんそう」など葉茎菜類は、前年を大幅に上回る品目が多かった。「ミニトマト」は入荷量の増加に伴って、価格を大きく下げた。</p> <p>野菜全体では、11月下旬から12月中旬の価格は236円（前年比112.9%）と前年をかなり上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類」「りんご類」「かき類」「かんきつ類」「いちご類」を中心に入荷した。</p> <p>着色が遅れていた「早生みかん」は増量し、前年を大幅に上回る入荷量だった。「いちご類」は台風被害の影響などから生育が遅れており、入荷量は前年比81.8%と大幅に少なかった。</p> <p>果実全体では、11月下旬から12月中旬までの入荷量は49,828t（前年比106.3%）と前年をかなり上回った。</p>
相場	<p>価格は、「りんご類」「いちご類」などは前年を上回り、「みかん類」は前年を下回った。「いちご類」は年末の需要期を前に入荷量が少なかったため、12月中旬では前年比116.8%の高値だった。</p> <p>果実全体では、11月下旬から12月中旬までの価格は383円/kg（前年比95.0%）と前年をやや下回った。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2019年11月下旬～12月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	開市日数 本年7日・前年8日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年7日・前年8日				開市日数 本年21日・前年23日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	44,130	104.0	238	115.2	41,838	97.9	228	111.4	42,150	96.4	242	112.1	128,118	99.4	236	112.9
うち外国産	903	88.0	317	97.3	1,046	92.6	282	94.6	1,203	85.4	266	98.5	3,151	88.4	286	96.9
果実総量	16,765	113.0	341	100.0	16,308	104.6	371	91.7	16,755	101.9	436	95.4	49,828	106.3	383	95.0
うち外国産	1,291	105.6	210	96.9	1,240	112.1	192	85.6	1,365	118.6	191	80.1	3,895	112.0	198	87.3

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,892	98.4	91	186.2	3,864	96.4	66	152.5	3,585	99.0	63	144.8	11,341	97.9	74	162.7
にんじん	2,284	85.4	137	104.4	2,621	92.5	144	139.3	2,765	93.4	136	129.9	7,670	90.6	139	123.5
はくさい	5,594	108.9	71	199.1	5,289	113.9	57	157.0	5,056	91.7	52	131.9	15,939	104.3	60	162.3
キャベツ類	5,200	103.1	77	103.5	4,792	97.4	70	101.8	4,351	94.9	74	116.2	14,343	98.6	74	106.7
ほうれんそう	410	75.9	640	179.5	404	72.8	584	158.8	412	83.8	631	164.7	1,226	77.3	619	167.8
ねぎ	1,777	98.7	336	112.0	1,823	100.1	331	115.9	1,819	94.2	292	103.3	5,419	97.6	320	110.5
レタス類	2,560	99.5	242	211.9	2,290	83.5	213	154.7	2,333	79.9	244	201.3	7,182	87.2	233	187.5
きゅうり	1,663	105.6	330	99.8	1,216	79.2	481	139.8	1,375	135.4	538	89.2	4,254	103.1	440	109.3
なす	607	117.4	454	108.0	435	92.5	559	121.9	390	91.4	565	118.3	1,432	101.2	516	114.6
トマト	1,522	83.3	555	139.6	1,624	90.6	432	116.0	1,754	101.1	376	98.8	4,901	91.5	450	117.3
ピーマン	744	112.9	411	119.0	606	95.2	410	129.1	460	91.6	457	119.5	1,811	100.7	422	122.1
さといも	322	106.8	311	113.2	322	97.4	326	109.4	547	95.0	351	106.9	1,192	98.6	334	108.7
ばれいしょ類	2,668	129.5	88	72.6	2,954	131.9	90	74.6	2,873	106.3	86	73.6	8,495	121.3	88	73.7
たまねぎ	3,225	103.7	80	71.7	3,153	95.8	77	66.4	3,103	97.8	78	64.9	9,481	99.0	78	67.6
生しいたけ	336	111.1	836	98.7	264	84.2	930	116.2	262	91.1	989	108.6	862	95.4	911	107.1
かぼちゃ	1,004	144.7	143	50.8	1,039	143.7	169	67.7	1,175	107.6	186	74.1	3,218	128.3	167	64.5
さやえんどう	34	100.7	1,111	110.9	37	74.3	970	99.6	44	94.3	1,063	109.6	115	88.3	1,047	106.9
かんしょ	1,136	104.7	255	116.4	1,034	98.2	241	114.8	1,122	93.7	255	118.8	3,291	98.7	250	116.8
かぶ	509	81.4	128	125.7	427	72.1	128	127.0	400	63.1	143	141.3	1,336	72.2	133	130.8
ごぼう	380	112.8	175	60.7	438	150.8	175	54.1	555	125.0	177	54.0	1,374	128.2	175	56.0
こまつ菜	405	105.3	386	260.7	289	81.1	477	309.7	291	91.3	608	218.6	984	92.9	478	252.8
こねぎ	143	102.3	1,103	148.3	134	98.5	912	135.1	134	91.3	863	128.2	412	97.3	962	138.1
糸みつば	49	102.6	411	111.0	41	97.6	460	114.6	38	87.3	683	135.6	128	96.0	507	119.8
しゅんぎく	107	85.0	630	151.6	82	62.3	782	205.0	87	77.0	1,052	199.6	276	74.5	808	184.7
いら	252	107.8	753	112.2	200	94.5	834	115.0	194	88.7	1,017	125.9	646	97.3	857	116.9
セルリー	237	94.3	269	139.2	207	85.4	252	144.5	229	78.6	229	136.7	672	85.7	250	140.6
カリフラワー	175	115.3	250	115.3	116	64.9	256	122.0	153	95.3	277	119.6	445	90.4	261	119.1
ブロッコリー	1,430	130.0	310	98.6	1,134	94.2	325	109.4	1,152	124.7	341	95.8	3,716	115.1	324	101.4
サラダな	30	115.7	432	119.8	21	87.2	514	146.1	23	89.7	593	156.6	74	98.0	504	138.7
パセリ	16	79.1	1,449	153.5	16	78.7	1,614	168.5	18	71.9	1,796	159.3	50	76.1	1,629	159.7
チンゲンサイ	144	118.7	306	137.4	110	91.4	373	167.3	110	91.4	415	182.2	364	100.6	359	160.0
ミニトマト	657	95.7	805	136.4	657	105.1	667	121.5	781	139.0	532	89.0	2,095	111.8	660	114.0
いんげん	74	103.2	1,026	120.5	66	79.1	952	105.6	78	99.7	896	109.1	218	93.4	957	111.4
そらまめ	1	10.5	1,144	113.5	8	48.2	895	121.0	15	44.7	763	138.2	23	41.5	821	123.5
えだまめ	11	164.2	1,116	97.6	8	92.9	1,092	94.6	6	73.4	1,494	121.2	26	107.5	1,193	101.3
やまといも	52	100.2	471	87.9	44	92.7	478	90.1	47	89.8	499	94.2	143	94.3	483	90.7
根しょうが	92	104.4	550	100.8	79	95.6	563	100.4	84	93.7	553	98.3	254	97.9	555	99.8
マッシュルーム	49	87.0	1,027	107.8	46	91.6	1,020	107.1	48	84.8	1,081	105.9	143	87.7	1,043	106.8

品目 (果実)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	9,063	112.0	263	100.3	9,283	101.1	275	93.8	10,181	101.1	284	91.7	28,528	104.4	274	94.6
(極早生みかん)	269	946.7	143	68.1	30	1349.7	146	95.6	7	676.0	189	142.4	307	966.7	144	70.9
(早生みかん)	8,720	109.9	267	101.6	8,723	122.3	274	94.7	5,580	162.4	272	89.7	23,022	124.4	271	96.6
(普通みかん)	74	57.1	226	90.5	530	26.0	292	95.9	4,595	69.3	299	95.5	5,199	59.1	297	95.8
かんきつ類	461	104.5	449	108.3	751	97.8	542	104.2	980	97.9	488	100.7	2,192	99.2	498	103.2
りんご類	2,841	115.9	318	110.6	2,415	100.5	338	112.7	2,025	89.7	356	114.7	7,282	102.4	335	112.1
(ふじ)	2,305	119.9	315	109.2	1,962	99.3	321	112.6	1,646	92.1	339	118.4	5,912	104.0	324	112.9
いちご類	431	97.5	1,782	101.3	549	66.9	1,739	106.1	780	87.9	2,301	107.4	1,760	81.8	1,999	106.8
(とちおとめ)	291	84.0	1,680	104.7	291	58.3	1,605	106.4	391	82.7	2,182	101.2	972	73.8	1,860	105.3
(あまおう)	63	209.8	2,207	72.2	101	77.7	2,013	97.2	155	104.1	2,520	112.8	319	103.3	2,298	102.3
メロン類	162	103.2	939	94.4	212	109.8	941	92.7	208	99.7	999	103.5	582	104.2	961	97.0
(アールスメロン)	134	104.7	1,017	92.5	172	112.4	1,025	90.1	177	104.1	1,061	102.3	483	107.1	1,036	95.1
すいか類	36	83.0	243	102.9	36	92.3	306	112.8	34	77.8	292	108.7	106	84.1	280	108.5
(すいか大玉)	35	83.5	230	100.3	33	86.3	290	107.3	33	74.8	284	106.0	101	81.3	267	104.6
日本なし類	120	147.2	307	93.2	50	76.2	393	110.5	50	72.7	398	106.8	220	101.9	347	98.9
ぶどう類	194	138.6	1,343	98.7	135	134.6	1,402	96.2	137	140.6	1,715	98.4	466	138.0	1,469	98.0
(巨峰)	25	236.8	1,154	81.5	6	213.5	1,467	109.1	1	75.9	1,137	83.6	32	223.4	1,216	86.9
(シャインマスカット)	91	159.7	1,955	90.4	62	145.1	2,225	89.2	86	159.3	2,392	89.2	239	155.5	2,183	89.5
かき類	1,913	125.5	273	105.2	1,425	188.3	272	94.4	709	145.1	335	91.7	4,047	146.1	284	99.1

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,537	101.5	91	191.8	2,405	108.8	64	150.3	1,914	106.5	60	143.2	6,856	105.3	73	164.6
にんじん	1,515	67.9	144	109.9	2,000	82.7	144	143.3	2,220	88.8	135	134.6	5,734	80.2	141	127.8
キャベツ類	1,651	78.8	80	105.6	1,217	57.4	70	106.2	952	61.7	75	130.6	3,820	66.3	75	112.4
ほうれんそう	21	28.1	565	200.8	32	36.5	485	161.7	30	37.4	512	155.6	83	34.2	515	169.4
ねぎ	101	39.3	371	110.6	257	62.6	357	113.8	342	69.2	307	102.4	700	60.3	335	107.0
レタス類	34	45.9	316	228.3	62	55.6	239	178.2	89	62.1	275	211.5	185	56.3	270	202.9
きゅうり	174	80.7	328	98.3	152	47.6	479	140.2	228	131.9	519	97.5	554	78.3	448	116.1
トマト	184	91.0	504	141.0	111	62.3	394	121.3	112	95.7	320	89.3	406	81.8	423	122.4
さといも	15	57.5	248	91.9	26	70.9	288	103.9	36	60.2	288	94.1	77	62.8	280	96.7
かんしょ	676	110.9	237	118.8	614	104.1	216	112.7	602	91.2	216	115.4	1,892	101.7	224	116.0
かぶ	398	81.6	130	124.7	336	71.1	128	125.6	323	60.9	145	142.1	1,056	70.9	134	130.4
こまつ菜	16	61.8	360	191.1	13	52.7	421	230.6	11	54.4	489	198.0	39	56.5	416	204.3
しゅんぎく	30	76.7	685	159.4	22	47.8	818	206.8	30	66.5	1,059	200.0	82	63.0	858	189.8
サラダな	9	88.2	432	141.0	6	76.6	471	152.3	7	75.7	549	168.0	22	80.4	480	152.9
パセリ	9	72.8	1,296	179.3	9	74.7	1,470	215.2	12	75.4	1,703	186.5	30	74.4	1,506	192.1
ミニトマト	42	52.9	802	145.7	32	39.8	774	145.6	73	108.3	521	93.8	147	64.7	656	120.4
やまといも	32	106.8	462	85.5	24	96.1	461	83.8	28	107.9	493	90.4	85	103.8	472	86.6

品目 (果実)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	2	52.9	772	97.5	2	48.6	731	82.9	2	44.8	760	92.4	5	48.5	755	90.8
(アールスメロン)	2	53.4	772	97.3	2	48.7	731	82.8	2	41.1	802	97.6	5	47.4	768	92.3

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。－は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 1月の見通し

野菜

関東、東海及び西南暖地からの入荷が主体となる。

関東産が主となる「だいこん」「にんじん」「ほうれんそう」などは台風や11月以降の降雨の影響で、平年を下回る入荷量となる見込み。「キャベツ類」は東海産からの潤沢な入荷により、全体では平年並の入荷量になると予想される。

野菜全体では、入荷量は前年を下回り、価格は前年並の見込み。

果実

「みかん類」「りんご類」「かんきつ類」「いちご類」の出回りが主体となる。

「みかん類」は主力の静岡産に加えて、出荷ピークが後進している愛媛産なども入荷するため、年明けは潤沢な入荷が見込まれる。「いちご類」は生育の遅れから年内は入荷量が少なかったが、1月下旬から増量する見込み。また、「かんきつ類」は、不知火、いよかん、ぽんかんなど中晩柑の多様な品種が入荷する。

果実全体では、入荷量は前年をやや下回る見込み。価格は、各品目とも不足感がないため、前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	↘	↗↗	↓↓	主産地は神奈川、千葉県。両県、多雨で生育や収穫作業が遅れている。入荷量は少なかった前年並で、平年をやや下回る見込み。
にんじん	↘	↘	↑↑	↑↑	主産地は千葉県。台風や大雨の影響から生育が回復しきらず、根部障害の発生もやや多い。入荷量は前年及び平年をやや下回る見込み。
キャベツ類	⇒	⇒	↘↘	↓↓	主産地は愛知、千葉県。愛知県は生育順調で作柄が良いが、関東産は降雨が多く小玉傾向。入荷量は前年及び平年並の見込み。
ほうれんそう	⇒	↘	↗↗	↗	主産地は群馬、茨城県。台風後の播き直し分が中旬からまとまった量で出荷される予想。入荷量は少なかった前年並で、平年をやや下回る見込み。
ねぎ	⇒	⇒	⇒	↘↘	主産地は千葉、埼玉、茨城県。肥大は良いが、雨が多く畝が崩されたり、作業が遅れている。入荷量は前年及び平年並の見込み。
レタス類	⇒	↗	⇒	↓↓	主産地は静岡、香川県。静岡県は作柄良好で、香川県も順調出荷で、全体的に前進傾向。入荷量は多かった前年並で、平年をやや上回る見込み。
トマト	⇒	↗	↗↗	↘↘	主産地は熊本、愛知、栃木県。熊本県は一時的に成疲れが、栃木県は平年並の出荷の予想。入荷量は多かった前年並で、平年をやや上回る見込み。
なばな	↘↘	↘	↗↗	↗	主産地は千葉県。播き直し分は順調に生育しているが、全体的には進度が遅れている。入荷量は前年をかなり下回り、平年をやや下回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

きゅうり

主要産地のきゅうりの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2018年度1月入荷量	2018年度1月シェア率
千葉	927 t	20.4 %
宮崎	1,641 t	36.1 %
高知	849 t	18.7 %
群馬	268 t	5.9 %

1月入荷予測	4,550t(前年比99.9%、平年比95.7%)		
1月価格予測	450円(前年比98.3%、平年比102.5%)		
1月市況予測	(上旬) 弱保合 ↘	(中旬) 強保合 ↗	(下旬) 強保合 ↗

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場における冬春きゅうり(12月～翌年6月入荷)は、埼玉、群馬、千葉県などの関東産地と宮崎、高知県などの西南暖地産地からの入荷が主となっています。

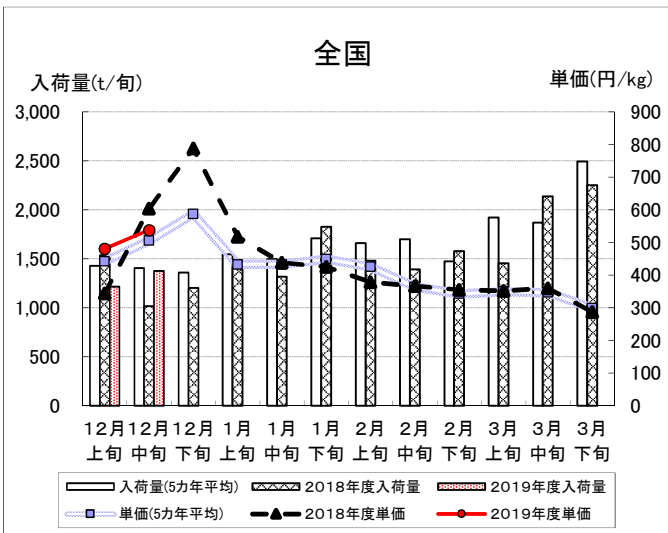
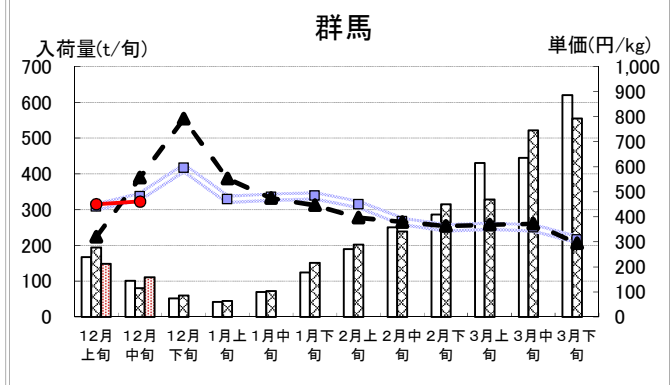
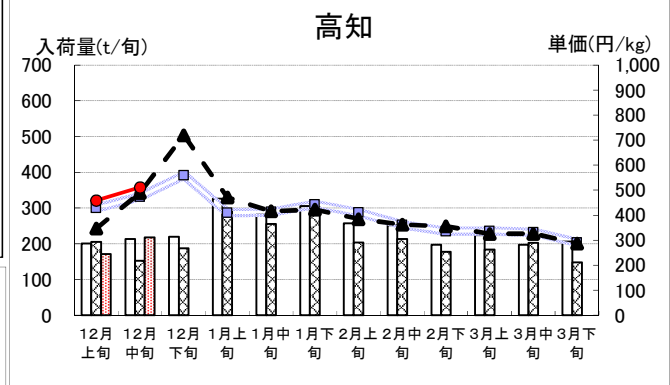
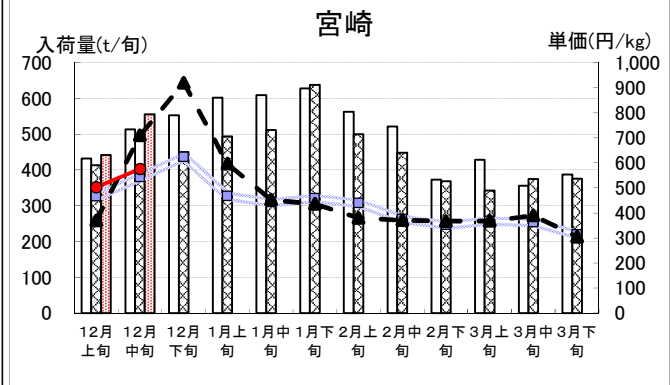
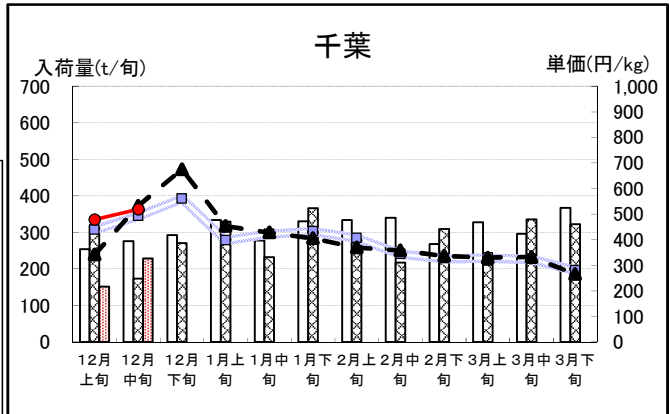
厳冬期の入荷は西南暖地産のシェアが相対的に多くなり、入荷量が増加する3月以降は埼玉県や群馬県などからの入荷が多くなり、徐々に関東産のシェアが大勢を占めるようになります。1月における千葉県の入荷量シェアはおおよそ20%を占め、東京都中央卸売市場における主要な産地のひとつとなっています。

前年度は、高知県産が天候に恵まれ順調な入荷となり、宮崎県産も台風による生育遅れから回復し、下旬に入荷量を増やしました。千葉県は曇天や成り疲れから、着果があるにもかかわらず、実の肥大が悪い状況が続きました。

1月の見通しは以下のとおりです。

宮崎県は年内の天候不順の影響が残るものの、出荷量への影響は少なく、平年並の予想です。高知県は年内の曇天や高夜温の影響から徐々に回復し、出荷量を増やすと見込まれます。千葉県は11月下旬頃から曇雨天が続く、生育が停滞していますが、今後好天が続けば出荷量が増える見込みです。

全体の出荷量は前年並で、平年をやや下回る見込みです。



II 花き(切花)情報

12月(中旬)までの経過

12月上旬までは台風・集中豪雨等の影響により、花き全般品薄傾向であった。期間全体では、単価は平年をやや上回り、平年並みの販売金額であった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	11月下旬・12月上旬は品薄傾向で平年を大幅に下回ったが、12月中旬は平年をかなり上回った。期間全体では平年をやや下回った。
相場	11月下旬は平年をやや下回ったが、12月上旬・中旬は平年をかなり上回った。
動向	18日(水)に恒例の千両市が開催。春先の天候不順や台風被害により影響により、下位等級が多くなった。

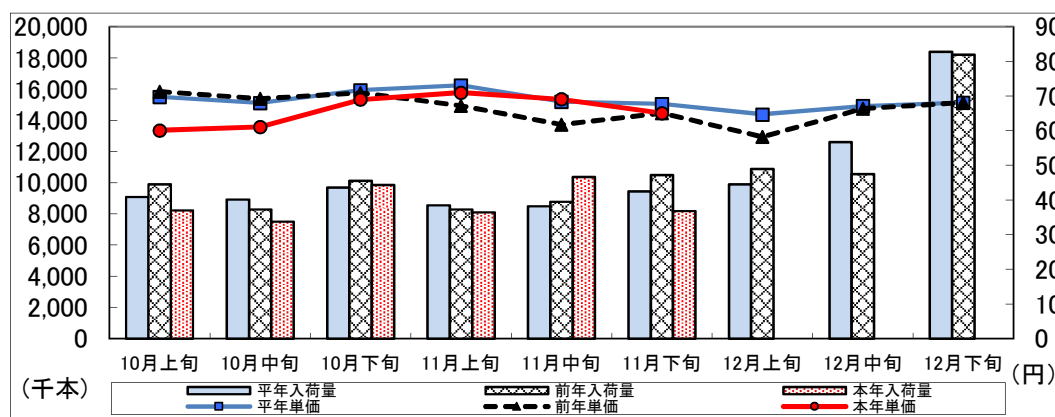
品目別経過

品目	経過
SPキク	国内各産地でやや生育前進。沖縄、鹿児島は上位等級が中心。栃木は一部台風の影響で秀品率が低く、特に2Lは不安定な入荷。輸入品に関しては安定した入荷。
バラ	10月からの天候不順の影響で数量があまりまとまらず、品薄感を持った入荷。相場の乱高下はなく、持合いの販売。
ストック	山形産は、終盤に近いことと寒さの影響受け数量減少。千葉産は台風の影響で大幅に出荷量が少なく、供給量不足。販売面では、品薄感から価格が高騰。

1月の見通し

品目	見通し
輪菊	入荷は昨年並みを見込む。上旬から中旬にかけて、業務需要あり単価も強い。
SPキク	上旬から中旬は各産地とも出荷不安定。上位等級少なく業務中心の動きとなる見込み。
カラー	湿地性は千葉県・愛知県中心に増加してくるが、千葉県産の数量がまとまってくるのは春先となる見込み。畑地性は千葉県中心で、輸入品は台湾、ケニアからで色物の割合が減少していく。

11月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	R1.11月				累計 (H31.1～R1.11月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	21,579	0.92	177	1.09	222,901	1.02	180	0.90
だいこん	3,354	0.99	82	1.49	26,842	0.95	79	0.78
にんじん	852	0.66	116	0.73	12,171	0.98	107	0.69
はくさい	2,363	0.84	64	1.23	15,971	0.96	64	0.69
キャベツ	3,165	0.87	74	1.00	36,979	0.99	78	0.78
ねぎ	735	1.08	320	1.06	7,833	1.05	281	0.81
トマト	580	0.72	520	1.17	9,681	0.99	328	0.89
きゅうり	562	0.92	382	1.22	8,756	1.12	289	0.90
ばれいしょ	974	0.85	87	0.76	13,408	1.00	117	1.07
たまねぎ	2,393	1.08	74	0.71	23,658	1.17	98	0.98
レタス	674	0.75	255	1.87	10,774	1.15	167	0.89
果実	5,491	1.00	284	1.03	50,756	1.01	363	1.00
みかん	2,081	0.92	198	0.90	7,049	0.93	249	0.92
かき類	1,023	1.01	260	1.12	2,397	0.91	264	1.02
グレープフルーツ	105	1.11	159	0.97	1,316	1.09	174	0.91
なし類	152	1.18	310	0.93	3,705	0.76	339	1.12
ぶどう類	134	1.78	1,046	1.11	1,740	1.21	868	0.99
いちご類	88	0.89	1,755	1.05	2,736	0.98	1,192	1.02
すいか類	3	0.98	306	0.92	5,257	1.08	203	0.92
メロン類	31	0.92	608	1.00	2,792	1.06	396	1.02
バナナ	463	1.08	145	0.93	4,374	0.96	168	1.03
りんご	868	0.99	299	1.12	6,008	1.04	296	0.94
その他	226	0.97	169	0.93	2,352	0.90	173	1.01
青果物合計	27,296	0.94	198	1.08	276,009	1.02	213	0.92

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	R1.11月				累計 (H31.1～R1.11月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	1,046	0.80	61	1.01	14,646	0.60	59	0.96
きく	311	0.67	64	1.10	4,097	0.51	65	1.00
バラ	38	0.77	96	1.15	507	0.55	76	1.00
カーネーション	189	1.00	39	1.02	2,232	0.64	46	1.02
枝物	39	0.73	94	1.17	314	0.56	100	0.98
鉢物	156	0.80	130	1.04	1,090	0.89	133	1.00
その他	3	1.50	86	0.87	17	0.67	70	1.03
花き合計	1,244	0.80	70	1.01	16,067	0.62	65	0.99

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

※平成30年4月1日から市川市地方卸売市場が民営化され調査対象外となった。

IV や っ ら っ ば 閑 話

「令和2年 謹賀新年」

新年明けましておめでとうございます。

今年のお正月は比較的穏やかな年明けとなりましたが、昨年は、9月以降の台風や大雨の被害で、異常気象を意識せざるをえない年でした。年頭にあたり災害のない一年を願うとともに、被害に遭われた方々の一日も早い復旧を祈願しています。

さて、新年といえば、「年頭のあいさつ」が様々な場面で行われ、今年の抱負や取組目標を聴く機会があります。大田市場では、1月5日（日）に青果の初市があり、東京都知事や卸売業者の社長さんの賀詞交歓会やセリ前のセレモニーで、今年を取組や目標、意気込みなどを聞いていると、今年、6月の改正市場法の施行と輸送業界にかかる人手不足の問題が多く話題になっていました。

まず、1点目では、改正市場法の施行により、商物分離が進み直送取引の拡大など流通のスピードアップを図っていく、2点目の輸送問題では、市場側からも輸送業界と協力して、荷受けシステムの改善や待機時間の短縮など労力縮減に繋がる取組を進めていくなどの今後の方向性が示されていました。

また、市場外取引に関しては、先日、青果物の中間流通業者（青果物を仕入れ、保管・管理、パッケージング、外食や量販店へ販売）から話を聞く機会があり、現状、野菜の需要のうち約6割が加工・業務用で、供給に当たっては、定時、定量、定品質、定価格が求められているとの話でした。

しかしながら、青果物の輸送については、ドライバーの不足による運賃の値上げや、ひどい場合は輸送を断られる事態もあり、異常気象の常態化など生産面でのリスクも勘案するとコスト削減と安定供給が喫緊の課題とのこと。

今後は、①消費地周辺に一定期間青果物をストックできる冷蔵貯蔵施設を整備し計画的な供給を図る、②大規模産地の周辺に冷凍工場を設置し、加工原料を安定供給する、③トラック輸送に関しては、産地も含め業界全体でパレット輸送や段ボールや通いコンテナの規格統一などコスト削減を推進するといった提案がありました。

さて、令和2年は改正市場法の施行をきっかけに、商物分離の進展や流通システムの再構築など様々な変化の年になりそうです。

（早起きは四文の徳？）

V 首都圏掲示板



青果物流通の合理化の取組を視察しました

12月18日に在京流通行政連絡会[※]で、外食産業や量販店向けに青果物を販売する青果物中間流通業の株式会社彩喜（埼玉県川口市）を視察しました。

（株）彩喜では鉄コンテナやプラスチック製コンテナとパレットを組み合わせて青果物を産地から実需者へと効率的に流通させていますが、中でもコンテナについては国内の標準規格のT11型パレットに適合する新しいコンテナの普及を推進しているとのこと。旧型コンテナではパレットからはみ出し積荷が不安定になる問題がありましたが、新型はサイズがぴったりなので積荷が安定し、青果物以外の荷物とトラック混載がしやすいなどの利点があるとのこと。

青果物は手積み（ドライバーが段ボール箱を手で積み込む）が多い、市場での荷降ろし待ち時間が長いなどの要因からドライバーが敬遠する積荷の一つです。今後は、産地から実需者まで青果物をパレットごと輸送するパレチゼーションの推進や卸売市場以外の流通拠点の整備・活用などにより、青果物流通の効率化を図る必要があると感じました。

※各県流通行政担当者の勉強会

◇「野菜流通カット協議会」の事業成果発表会が2月28日開催予定です。全国の加工・業務用野菜の取組事例のほか（株）彩喜の取組も報告される予定です。
参加申し込み ⇒ <http://www.vedica.jp>



緑：旧型コンテナ
茶：新型コンテナ

下に敷いてあるのがT11型パレット
T11型は国内のスタンダードだが、青果物では他規格の木製パレットの利用がまだ多い。



青果小売業者を対象とした「こかぶ産地見学会」を開催

12月1日、青果小売業者を対象とした「こかぶ産地見学会」を、JAちば東葛、全農千葉県本部、東京青果(株)との共催で開催しました。本見学会では、生産現場の見学や生産者との意見交換等を通じ、実需者に品目や産地の魅力を直接伝えるとともに、調理提案を通じて消費拡大を図っています。

本県のこかぶは、産出額及び東京都中央卸売市場への入荷量において、全国1位で、また、特色のある品目でもあります。

当日は、昨年の台風で被害のあった利根川遊水地のほ場や住宅に囲まれたほ場など、3か所を見学しました。いずれも栽培風景や出荷調製作業を見ながら、生産者のこかぶ生産への想いや苦勞、品質や荷姿へのこだわりを伝えることが出来ました。また、被災ほ場を見学した際には、参加者から励ましの声もありました。

調理提案では、葉まで利用できるこかぶ料理のバリエーションの多さに参加者は感心し、中でもこかぶの天ぷらは「お客さんにも紹介したい」など好評でした。

その後も、生産者からは産地の歴史や部会の取組等が紹介され、参加者からは小売業者の視点で販売促進方法や規格・荷姿への提案や要望が出されるなど、双方で活発に意見交換されました。参加者からは「産地のこだわりや想いを知ることができた」「これから売りの言葉にもっと気持ちを込められる」などの声が聞かれ、これからの販売につながることを期待されます。



ほ場見学



こかぶの天ぷら